

# 熱田環境開発株式会社

## SDGsの取組

<b>取組・活動内容</b>	ステンレス製雨水タンク製造販売を中心に環境保護を実践します。都市型洪水の頻発で豪雨を一時緩和するだけでなく農業にも貢献でき世界最低レベルの食料自給率向上に貢献したいと存じます。災害時の雑水、洗車、水道代のコストダウンには効果抜群です。雨の三分の一は洪水、三分の一は地表を流れ、残りがダムや湖、池に貯水されます。6割以上の雨水を無駄にしています。補助金がでる市町村が増えてきました。さらなる情報発信により国力があがるという21世紀型治水対策です。ステンレスは30年以上の耐用年数です。ステンレスをメインに営業努力を続けます。		
	<b>目指すゴール</b>	<b>取組・活動内容とゴールとの関係</b>	<b>目標</b>
<b>経済</b> 6		災害時の飲料水やトイレの水に使用できる雨水の有効活用のため、耐久性の高いステンレス製の雨水タンクの売上を増加させる。	年間売上 1000万円以上（2023年度）
<b>社会</b> 13		自社製品である生ごみ処理機の調整過程で出る堆肥を、地元の農家等に無償提供する。	提供件数 週5件（現状）→週50件（2025年）
<b>環境</b> 17		情報発信を通して、資源の有効活用に資する古紙リサイクルシステムの普及促進を行う。	古紙リサイクルシステムの売上を現状の三倍とする（2025年まで）